県建築協会、第1回安全パト

安全意識高揚を促す

県建築協会（上山一吉会長）は6日、木造建築工事として注目の高い鹿児島市の松陽台団地県営住宅新築現場で、監督官庁を交えた第1回安全パトロールを実施。鹿児島労働基準監督署や県鹿児島土木事務所、労務委員ら約16人が参加し、現場での労働災害防止対策等を含め、より一層の安全意識高揚を促した。

現場では初めに、松陽台安全協議会（坊野次男会長、㈱宮秀建設）を交え説明会が開かれた。冒頭、中村明人労務委員長から点検事項等の説明が行われた後、上山会長が「労働災害は減少傾向にあるものの絶滅に向けた取り組みを推進することが大切である。人命尊重を第一に労働災害防止に力を入れてほしい」などと挨拶。

引き続き、現場担当者から工事概要や作業内容、安全管理などの説明を受けた後、診断を開始。診断員らは、外部足場などの安全対策が十分であるかなど細部にわたって入念にチェックしたほか、現場事務所の安全日誌や点検記録簿等の点検も行った。

パトロール終了後は、現場代理人等を交えた反省会を実施。各診断員から診断結果について説明が行われ、一部指摘事項等があったものの、おおむね良好であったことが報告された。最後に、鹿児島労働基準監督署の神村健一郎労働衛生専門官が「指摘された場所についてはただちに対処していただきたい。また、屋根工事等を行う場合は、安全帯の使用を徹底して実践してほしい」などと注意を促した。

入念にチェックする診断員
＝鹿児島市の松陽台団地県営住宅新築現場で

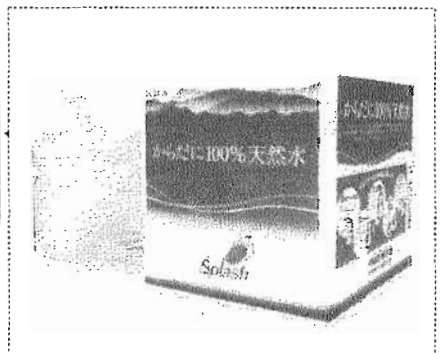
話題の商品・工法

新商品・工法の情報などは本社報道部へご連絡下さい。

スプラッシュウォーター

和食料理に最適

ダスキン鹿児島



ダスキン鹿児島はこのほど、からだにやさしい100％天然水「スプラッシュウォーター」＝写真＝の販売を開始した。担当者が定期的に指定先へと配達するシステム。

同品は、国土交通省「水の郷百選」にも認定された東広島市の太田川源流域・三條川水系の水源、志和の天然水を採水し、現地でそのままパックしたもの。日本人の口に最も合うといわれる天然のミネラル分が自然に溶け込んだ軟水。

軟水には炭酸イオンが含まれているため清涼感があり、冷やしても温めてもおいしく、飲料はもちろん、料理、特に和食には最適と言われている。

価格は10ℓタイプ、給水口付きパック入り1260円。8月末まで半額モニターキャンペーン中。専用ラックやサーバーもレンタルまたは販売している。

申し込み・問い合わせは、ダスキン鹿児島（鹿児島市上荒田町42－5フリーダイヤル0120・38・5374）まで。

志布志市造園業者がボランティア

港祭り前に港湾清掃

志布志市内造園業者有志（13社）は4日、志布志港の緑地帯やグラウンドの草払いなどの奉仕作業を実施した。

志布志港開発当初から施工に携わった業者らが、自分たちが施工した緑地帯が荒れていくのを見かね、また、九州唯一の中核国際港湾・志布志港で間もなく開かれる「港祭り」を前に港湾をきれいにしようと実施した。

現場での朝礼で又木道二社長（有）又木ガーデンが、この日の趣旨説明を行った。続いて武石梓社長（有）武石総合建設）が作業上の注意を述べた後、参加者28人がタイヤショベル2台・2tダンプ4台・刈払い機20台などを使い、草刈りやごみ拾いを終日かけて行った。作業中に県志布志湾港湾事務所の野間順一所長が、激励と感謝に訪れた。参加者の中には、20年前に施工した所もあり懐かしく作業していた。また参加者から、このような活動は業界を挙げて継続的に続けたいとの声も。

丁寧に作業を進める参加者＝志布志市の現地で

参加業者は次の通り。

（有）又木ガーデン　（有）武石総合建設　内村庭志園　（株）大迫建設　（株）斉野建設　佐藤建設（株）　玉田産業（株）　（有）福山緑地建設　（株）平和緑地　（有）前田緑化園　（株）又木庭園建設　（株）山本組　吉起殖産（有）

士会出水支部青年部、就職ガイダンス

体験談で後輩を激励

県建築士会出水支部青年部（西野利政部長）は5日、出水市の県立出水工業高校建築科1、2年生を対象に就職ガイダンスを開催。同校OBの会員5人が体験談をもとに講話した。西野部長は「見る・聞く・書く・話すは社会人の基本。本日は、わたしたちの話を聞いてもらうだけでなく、講話後、あなたたちにも話してもらいます。アンケートも準備しました。しっかり書いてください」と主旨を説明。

建築科OB

建築科1、2年生に講話する青年部会員＝出水市の出水工業高校で

建築科1、2年生に講話する青年部会員＝出水市の出水工業高校で

の一人、田代昌吾さん（岡田建設㈱）は、建築科に入学するきっかけになった女性建築士との出会いや勤務先が受注した同校耐震補強工事での現場での話をもとに「わたしは職場に入って10年目になります。社会人は自分の責任で行動しなければなりません。せっかく建築科に入学したのですから、目標を失わず最後まで頑張ってください。また資格は大切でいま2級建築士ですが、早いうちに1級を目指します。資材を待っていると人の目が違います。せっかく挑戦してください。卒業後、皆さんと一緒に設計や現場を盛り立てることができたらいいですね」と話した。

岩﨑憲二さん（㈱岩﨑電設）、松下勇三さん（まつした保険（有）松下）、西村宗章さん（西村設計）、二宮聖典さん（有）ヤマサキ電機産業）がそれぞれのテーマで講話、後輩たちを激励した。司会は西村まちづくり委員会委員長と岩﨑青年部副部長。

南さつま分会が奉仕作業

笠沙恵比寿周辺を清掃

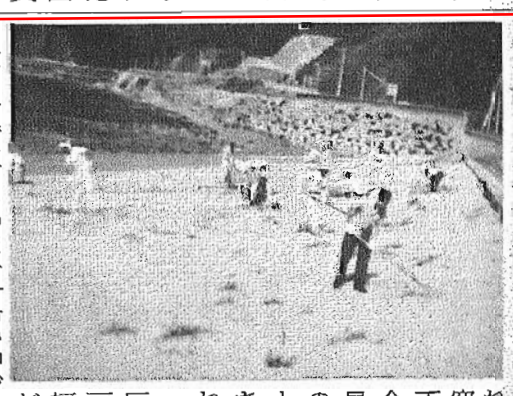
県建築士会南薩支部

県建築士会南薩支部南さつま分会（田代昌吾会長）は1日、建築士の日にちなんだ地域交流活動の一環として、同市笠沙町の「笠沙恵比寿」敷地周辺の清掃作業をボランティアで実施した。

今回は、17年11月の市町合併により南さつま市が誕生したことから、旧加世田分会を南さつま分会として組織を変更。新たに旧金峰町のメンバーを加えた約50人が参加して、笠沙恵比寿敷地内の公園および駐車場の清掃作業と、海岸周辺のごみ拾いなどを中心に行われた。

現場では、軍手にごみ袋を手に同施設の敷地内や、施設前の海岸に打ち上げられているごみや空き缶などを、丁寧に回収する会員らの光景が見られ、会員らの懸命な努力により施設周辺はきれいに清掃された。

作業終了後の反省会では、福戸山清和氏（有）福戸山建設社長）が「きょうは、暑い中ご苦労様でした。皆さんのおかげで、施設周辺もきれいになりました。ゆっくりと疲れを癒してください」と挨拶。その後、出席者らは建築業界の現状や今後のことなどについて歓談。ボランティア活動の労を互いにねぎらった。



懸命に清掃作業に取り組む会員＝南さつま市の現地で

松島建設が奉仕活動

安全走行と景観確保

（有）松島建設（松島恒利社長、西之表市）は6月30日、地域社会への貢献活動の一環として今年も、西之表市役所前の市道植樹帯の剪定作業をボランティアで実施した。4回目。

同社では、道路の良好な景観確保や市民に気持ち良く利用してもらうことなどを目的に毎年実施しており、今回も全社員が総出で行った。

作業現場は普段から人や車の往来が頻繁で、伸びた枝が道路や歩道にせり出すなどしていたことから、安全な走行と美しい景観を取り戻そう－と、この日の作業となった。

当日は、午前中から気温がぐんぐん上昇。強い日差しの下、全員汗だくになりながらノコギリや刈り払い機、剪定バサミなどを巧みに使い、剪定や除草作業などに取り組んだ。

作業に参加した同社総務部の松本智成さんは「地元に信頼される企業を目指し、ボランティア活動など積極的に行い、地域社会に貢献したい」と抱負を語った。

汗だくになりながら作業に取り組む社員＝西之表市の現地で